

研究協力のお願

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腹膜透析患者の骨ミネラル代謝因子における腹膜機能に関連する因子の検討			
1. 研究の対象および研究対象期間 昭和大学病院(昭和医科大学病院)で2017年4月1日から2025年5月31日までに腹膜透析を導入し6~24か月で腹膜機能検査を行った患者さん。			
2. 研究目的・方法 腹膜は透析液に長期的に暴露されることで慢性炎症および腹膜の損傷を引き起こすと考えられています。無機リンやカルシウムが腹膜中皮細胞を障害することを示唆する報告もありますが、十分には解明されていません。慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常に関わる因子の腹膜機能への影響を検討することを目的としており、腹膜機能と関連のある因子の臨床管理改善の必要性を患者さんの診療録から見出します。			
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年3月31日まで			
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景（性別、年齢、透析導入に至った原疾患、現病歴、既往歴・併存疾患、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、リン吸着薬・活性型ビタミンD製剤・カルシミメティクスの投薬の有無および用量、腹膜透析処方内容、腹膜炎歴、腹膜機能検査データ(D/P、D/DO)、血液検査データ(WBC、RBC、Hb、Ht、MCV、Plt、PT、APTT、Dダイマー、FDP、TP、Alb、ビリルビン、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、Ca、P、Na、K、Cl、AST、ALT、LD、ALP、 γ -GTP、CK、アミラーゼ、CRP)。			
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。			
6. 研究組織			
研究責任者	研究機関名	昭和医科大学医学部内科学講座腎臓内科学部門	氏名 加藤 憲

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部内科学講座腎臓内科学部門

氏名：加藤 憲

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 6号館4階腎臓内科医局

電話番号：03-3784-8533